

よくある質問（試験区分について）

Q	A
<p>・総合事務（データ/デジタル）に求められる専門性や経験は、何かありますか。</p>	<p>計量経済学、統計学や機械学習（AI）、データ分析、情報システム等を学ばれた方、また、「情報システム・ネットワークの開発・保守・運用」や「デジタル技術（IoT やビッグデータ、AI・RPA 等）を活用したビジネスプロセスの改善や既存のビジネスモデルの転換等」の経験のある方、関わったことのある方を求めています。</p> <p>入庁時には、これらのうち一部の専門性や経験（例えば、計量経済学を用いたデータ分析の専門性はあるが現段階でデジタル技術には詳しくない）しかなくても差し支えありませんが、入庁後、これら全般について一定の専門性を身に着けることが期待されます。</p>
<p>・総合事務（データ/デジタル）で採用された場合、どのような部署に配属されますか。</p>	<p>主に情報システムの開発や管理運営、デジタルテクノロジーの活用による業務改善の推進等を行う職場を予定しています。既にデジタルテクノロジーやデータを利活用している職場だけでなく、これらにまだ着手できていない職場で、課題を自ら発見し、関係者を巻き込みながらデジタルテクノロジーやデータを利活用して解決していくことも期待しています。</p> <p>ただし、「総合事務」としての採用ですので、それらの業務に限らず、幅広く行政事務全般に従事する場合があります。</p>
<p>・試験区分「農業」、「農業土木」、「造園/森林」、「総合科学（環境）」のいずれかで受験を検討しているが、それぞれどのようなことを学んでおく必要がありますか。</p>	<p>それぞれの試験区分において学んでおいていただきたい専門性は以下のとおりです。</p> <p>「農業」 栽培学汎論、作物学、土壌肥料学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、農業経済一般</p> <p>「農業土木」 農学一般、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械</p> <p>「造園/森林」 造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園関連基礎、造園計画・設計（都市・地方計画を含む）</p> <p>「総合科学（環境）」 環境概論、環境政策、環境保全、環境汚染、廃棄物、地球環境、環境工学、物理・化学・生物</p>

<p>・試験区分「農業」、「農業土木」、「造園/森林」、「総合科学（環境）」の業務内容についてはどのような違いがありますか。</p>	<p>それぞれの試験区分の違いをわかりやすく表現すると、以下のとおりです。</p> <p>「農業」 神戸ビーフをはじめ、ホウレンソウ、キャベツ、米、新鉄砲グリ、イカナゴなどの農畜水産物の生産振興を図るとともに、食を軸とした新たな都市戦略「食都神戸」の推進や、豊かな自然環境の保全と農村環境の整備、農村地域へ新たな人を呼び込み、移住・定住につなげる「神戸・里山暮らし」が主な仕事です。</p> <p>「農業土木」 農地や農業基盤施設の整備や管理、長寿命化、防災対策等に関する調査、計画、設計・施工が主な仕事です。 また、ため池等の地域資源の景観向上や活性化・ブランド化など、里地・里山のまちづくりや魅力向上に関する企画立案や実践に関する業務が主な仕事です。</p> <p>「造園/森林」 都市公園や街路樹、街かどの緑化・飾花などに関する計画、設計、工事監督、管理、民間指導や支援が主な仕事です。六甲山をはじめとした神戸の森林については、長期的な視点で森林・里山の再生や利活用に取り組んでいます。</p> <p>「総合科学（環境）」 次世代エネルギーの推進、大気汚染・騒音等の公害対策、ごみの減量や資源化といった廃棄物行政が主な仕事です。環境問題の解決に向けて幅広く取り組んでいます。</p>
<p>・試験区分「農業」、「農業土木」、「造園/森林」、「総合科学（環境）」のいずれかで採用後された場合、それぞれどのような部署に配属されるのか。</p>	<p>それぞれの試験区分における配属先(例)は以下のとおりです。</p> <p>「農業」 経済観光局、農業委員会事務局、区役所 等</p> <p>「農業土木」 経済観光局、建設局、地域協働局、区役所 等</p> <p>「造園/森林」 建設局、都市局、区役所 等</p> <p>「総合科学（環境）」 健康局、環境局、建設局、水道局 等</p>